

事業名	確かな学力の向上を目指す教育の推進	評価実施者	所 属 職・氏名	心の教育推進室 室長 吉川 修
-----	-------------------	-------	-------------	--------------------

主要事業の概要	開始年度	根拠法令等					特定財源	
	実施方法	☒ 直接 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担金 ☐ その他〔						

評価項目	点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察							
1 適応性 有効性	9	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。						■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		②事業の目的に照らして効果的な手法か。						□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		複数の教員が、教科の指導方法の工夫改善に当たるとともに、学習に遅れのある子への指導も対処できた。							
2 目 標 達成度	10	③目標の水準は適切か。						■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		④計画通りに目標を達成できたか。						■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		文部科学省の定数配置制度をフルに活用し、9校に配置。							
3 経済性	5	⑤コストは縮減しているか。						■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
		国費を最大限活用し、小規模校には市費の教諭を配置した。							
総合評価	合計	24	ランク (A～E)	上記評価を踏まえた事業の課題					
	100点 換算	96	A						
		/25							
				☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☒ 質的向上 ☐ スピートアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持					

【評価点数】

5 : 十分にできている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

【総合評価ランク】

A : 86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
 B : 71～85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
 C : 56～70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
 D : 41～55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
 E : 40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

◎外部評価委員の評価・意見等														
評価項目		点数	判 定						点検・評価に関するコメント					
1	適応性 有効性	9	①	■	5	□	4	□	3	□	2	□	1	・学力検査や全国学力状況調査などの結果を基に検証しながら向上策に取り組むことが大事である。
			②	□	5	■	4	□	3	□	2	□	1	
2	目 標 達成度	10	③	■	5	□	4	□	3	□	2	□	1	
			④	■	5	□	4	□	3	□	2	□	1	
3	経済性	5	⑤	■	5	□	4	□	3	□	2	□	1	
			合計	24	100点 換算		96	ランク		A				
				/25			/100							

滝川市教育委員会

全国学力・学習状況調査結果の概要

調査実施日 平成21年 4月21日(火)

参加校 小学校7校、中学校4校

参加者 小学校6年生 343名 中学校3年生 372名

1 全国的な学力調査の意義・目的

- (1) 全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育の結果を検証し、改善を図る。
- (2) 教育委員会及び学校等が全国的な状況との関係において自らの教育の結果を把握し、改善を図る。
- (3) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善に役立てる。

2 結果の公表について

- (1) 実施に当たっては、子どもたちに学習意欲の向上に向けた動機付けを与える観点も考慮しながら、学校間の序列化や過度な競争につながらないよう十分な配慮が必要である。
- (2) 本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であること、理解に努めるとともに、その結果を指導改善に生かすよう、各学校の工夫や取り組みが大切である。

4 学力調査結果の概況

・全国、全道の平均正答率に対し、本市の正答率を、上回っている 同程度(±3%以内) 下回っているというように表した。

項目	調査結果の概要
<小学国語A> 主として「知識」	本市における平均正答率は、全国の平均正答率(69.9%)より下回っているが、全道の平均正答率(66.0%)と同程度の正答率である。
<小学国語B> 主として「活用」	本市における平均正答率は、全国の平均正答率(50.5%)より下回っているが、全道の平均正答率(45.9%)と同程度の正答率である。
<小学算数A> 主として「知識」	本市における平均正答率は、全国の平均正答率(78.7%)より下回っているが、全道の平均正答率(74.1%)と同程度の正答率である。
<小学算数B> 主として「活用」	本市における平均正答率は、全国の平均正答率(54.8%)より下回っているが、全道の平均正答率(51.5%)と同程度の正答率である。
<中学国語A> 主として「知識」	本市における平均正答率は、全国の平均正答率(77.0%)より下回っているが、全道の平均正答率(76.1%)と同程度の正答率である。
<中学国語B> 主として「活用」	本市における平均正答率は、全国の平均正答率(74.5%)より下回っているが、全道の平均正答率(72.6%)と同程度の正答率である。
<中学数学A> 主として「知識」	本市における平均正答率は、全国の平均正答率(62.7%)・全道の平均正答率(61.1%)より共に下回っている。
<中学数学B> 主として「活用」	本市における平均正答率は、全国の平均正答率(56.9%)・全道の平均正答率(55.4%)より共に下回っている。

5 課題と改善策 □《成果があった問題》 ■《課題があった問題》 ☆《改善策》

※小学校算数 一部掲載

(1) 小学校 算数A(主として「知識」に関する問題) □1 繰り上がりのあるたし算、整数の割り算、同分母分数のひき算の計算をする(93.8%) □5(3) 平行四辺形の二つの辺の長さが10cm、8cmのとき、指示された辺の長さを求める(90.1%) □3 千円札を長方形と見ると、長い方の辺はどのくらいの長さか選ぶ(83.7%) 他	■7 200人のうち80人が女子のとき、女子の人数の割合は全体の何%か選ぶ(51.6%) 他 ☆改善策 与えられた数値をテープ図や線分図に書かせる活動を取り入れたり、「集まった人数の～%は女子の人数です」というように表現させたりして、比較量と基準量を適切にとらえられるように指導することが大切である。また、第2学年以降の倍の学習、整数倍や小数倍の学習において、「基にする量の何倍」というように、基準量を意識できるような指導の積み重ねが大切である。
(2) 小学校 算数B(主として「活用」に関する問題) □2(1) 上皿てんびんで分銅と消しゴムが釣り合っていることをもとに、消しゴムの重さを求める(89.2%) □5(1) 4月に集めたペットボトルの重さをグラフから読み取る(80.4%)	■1(6) 減法と除法の混合した整数の計算をする(50.4%) 他 ☆改善策 80-30÷5の計算では、除法を先に計算した場合と減法を先に計算した場合を比較して、式のどの部分から計算するかによって計算結果が異なることを児童が認識できるよう、指導することが大切である。 また、計算の順序についてのきまりの理解を一層深めるためには、乗法と加法、減法の混合した計算だけでなく、除法と加法、減法の混合した計算など、四則の混合した様々な計算をする機会を設け、継続的に指導する必要がある。

1 全国的な学力調査の意義・目的

- (1) 国の責務として果たすべき義務教育の機会均等や一定以上の教育水準が確保されているかを把握し、教育の成果と課題などの結果を検証する。
- (2) 教育委員会及び学校等が、広い視野で教育指導等の改善を図る機会を提供することなどにより、一定以上の教育水準を確保する。

2 結果の公表について

- (1) 実施に当たっては、子どもたちに学習意欲の向上に向けた動機付けを与える観点も考慮しながら、学校間の序列化や過度な競争につながらないように十分な配慮が必要である。
- (2) 本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であること、理解に努めるとともに、その結果を指導改善に生かすよう、各学校の工夫や取り組みが大切である。

4 学力調査結果の概況

- ・全国、全道の平均正答率に対し、本市の正答率を、**上回っている** **同程度(±3%以内)** **下回っている**というように表した。
- ・年度間の相対的な比較は、問題の難易度、標準偏差(正答率のばらつき)などが異なり、平均正答率で比較することができない。このことから、問題の難易度や標準偏差を加味し**全国の平均正答数を100**とした標準化得点で、年度間の相対的な比較をすることとした。

項目	調査結果の概要	20年度 標準化得点	19年度 標準化得点
<小学国語A> 主として「知識」	・本市の平均正答率は全国の平均正答率を下回っているが、北海道の平均と同程度で6割の正答率である。	98	99
<小学国語B> 主として「活用」	・本市の平均正答率は全国の平均正答率を下回っているが、北海道の平均と同程度4割～5割の正答率である。	97	98
<小学算数A> 主として「知識」	・本市の平均正答率は全国の平均正答率を下回っているが、北海道の平均と同程度で6割～7割の正答率である。	97	96
<小学算数B> 主として「活用」	・本市の平均正答率は全国の平均正答率を下回っているが、北海道の平均と同程度で4割～5割の正答率である。	98	97
<中学国語A> 主として「知識」	・本市の平均正答率は全国・北海道の平均正答率を下回っており、およそ7割の正答率である。	97	97
<中学国語B> 主として「活用」	・本市の平均正答率は全国・北海道の平均正答率を下回っており、5割～5割5分の正答率である。	97	96
<中学数学A> 主として「知識」	・本市の平均正答率は全国・全道の平均正答率を下回っており、5割5分の正答率である。	97	97
<中学数学B> 主として「活用」	・本市の平均正答率は全国・全道の平均正答率を下回っており、4割の正答率である。	96	97

5 課題と改善策

▲《課題》

☆《改善策》

小学校算数 一部掲載

(1) 小学校 算数A(主として「知識」に関する問題)

▲《課題》 計算の意味の理解、計算の仕方を考えるなどの能力に課題がある。

☆《改善策》 作業的・体験的な活動などをおして計算の意味の理解を深め、計算の仕方を考えることや、繰り返し学習などの工夫を講じ、基礎的な計算の技能を確実に習得させる。

【正答率が高い主な設問(概要)】

88.9%

<量と測定> 平行四辺形の面積の求め方を理解し、面積を求めることができる
「底辺8cm、高さ6cm、斜辺7cmの平行四辺形の面積を求める式と答えを書く」

【正答率が低い主な設問(概要)】

滝川市正答率47.8%

<数量関係> 百分率の意味について理解している
「620冊の本の40%の冊数を求める式と答えを書く」

(2) 小学校 算数B(主として「活用」に関する問題)

▲《課題》 根拠を明らかにしながら、筋道を立てて考える力や、自分の考えを言葉や図、式、具体物などを用いて表現する能力に課題がある。

☆《改善策》 問題を解決する過程を言葉や式、図で表し、その解決方法を振り返らせたり、自分の考えた道筋を振り返らせながら、友達同士で話し合ったりする活動を取り入

【正答率が高い主な設問(概要)】

82.8%

<数量関係> グラフから情報を読み取ることができる
「グラフからA町の1980年の農業生産額をよみとる」

【正答率が低い主な設問(概要)】

滝川市13.8%

<数量関係> グラフの特徴を基に2つのグラフが対応していないことをよみとり、違いを記述することができる
「身長の変化を示す折れ線グラフの一部分と身長の伸びを表す棒グラフの一部分を比べて、その違いを書く」

6 学習状況の傾向（一部抜粋）	小学校（％）				中学校（％）			
	H19 滝川	H20 滝川	H20 全国値	H20 全道値	H19 滝川	H20 滝川	H20 全国値	H20 全道値
①基本的生活習慣								
・朝食欠食率	6.0	6.9	4.5	6	10.6	11.1	8.1	9.2
・学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている。	89.4	83.6	90.3	87.4	80.1	83.9	83.3	88.4
・勉強時間を自分で決めて実行している。	45.8	50.0	52	49.7	37.2	38.6	34.2	36.2
②未来を拓く主体性								
・ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	91.6	92.9	93.5	92.4	87.4	93.7	91.9	91.3
・将来の夢や目標を持っている。	84.6	80.3	84.7	82.3	65.1	67.8	70.7	70.2
・難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。	64.0	67.4	72.3	69.6	59.4	60.1	61.9	61.8
③生活の時間								
・普段7時前に起きる。	74.0	71.0	75	69.8	46.3	54.6	65.1	54.7
・普段10時前に寝る。	50.4	46.7	41.4	49	6.4	8.6	5.3	7.1
・テレビ、ビデオ・DVDの視聴時間は一日に2時間以上。	59.5	69.9	69.8	71.8	65.6	70.8	66.8	70.8
・テレビゲーム一日に2時間以上する。	26.2	36.6	23.9	30.1	35.7	31.3	21.3	27.9
・学校の授業以外に、一日あたり、勉強を1時間以上する。	37.7	31.8	56.1	39.6	42.9	44.8	65.4	56.8
・学習塾に通っていない。	65.3	59.5	51.5	58.7	62	47.2	35.8	42.2
④家族との関わり								
・家の人と一緒に朝食を食べる。	54.8	60.0	60.7	59.1	43.4	44.8	40.6	42.2
・家の人と一緒に夕食を食べる。	85.9	86.4	88	89	80.9	86.3	80.4	81.8
・学校での出来事を話す。	68.0	69.5	69.2	68.2	54	60.3	57.9	59.9
・家の手伝いをする。	70.8	74.1	77.5	77.1	68.8	63.2	60.6	64
⑤家庭学習								
・家で学校の宿題をする。	91.1	93.1	95.2	88.2	68.2	74.6	81.4	80.3
・家で学校の授業の予習をする。	38.5	40.0	35.4	37.8	20.4	35.2	28.4	30.3
・家で学校の授業の復習をする。	53.4	50.5	43.4	47	40.3	40.7	39.6	43.1
⑥学校生活								
・学校で友達に会うのは楽しい。	94.8	94.4	96.6	95.4	92.3	93.8	94.7	93.1
・好きな授業がある。	94.1	91.5	92.4	91.7	79.8	84.5	77.2	77.2
⑦社会への関心								
・新聞やテレビのニュースに関心がある。	60.2	62.0	66.1	64	62.7	64.0	64.1	63
・今住んでいる地域の歴史や自然に関心がある。	40.4	38.0	48.2	44.8	17.6	21.7	23.5	23.6
・今住んでいる地域の行事に参加している。	51.5	39.5	59.9	51.4	25.1	26.7	37	33
⑧模範意識								
・学校のきまりを守っている。	81.6	80.5	86.3	82.7	77	77.5	87.4	86.2
・近所の人に会ったときは、あいさつをする。	81.8	79.7	88.7	85.9	70.6	74.3	82.7	77.4
・人の気持ちがわかる人間になりたい。	87.8	91.3	91.9	90.1	86.5	91.2	92.5	90.9
・人の役に立つ人間になりたい。	95.4	91.8	92.4	90.7	81.1	87.8	90.5	89.2
・いじめはどんな理由があってもいけないことと思う。	95.6	94.1	94.7	94	86.1	83.4	89.5	87.4
・人が困っているときは進んで助けている。	74.2	74.1	77.7	76	66.1	71.0	72.7	71.2
⑨生活体験								
・海、山、湖、川などで遊んだことがある。	82.4	80.3	84.4	81.9	80.6	70.5	77.2	74.4
・花を咲かせたり、野菜を育てたりしたことがある。	73.5	77.7	79.3	79.2	61.8	73.6	69.9	72.8
・体の不自由な人やお年寄り、困っている人の手助けの経験がある。	36.3	38.0	41.3	40.8	43.9	43.0	41.7	43.3

《詳しくお知りになりたい方は》 教育委員会ホームページをご覧ください。（滝川市ホームページから）
<http://www.city.takikawa.hokkaido.jp/index.jsp>
《お問い合わせは》 0125-23-1234（1737） Fax 24-1024